

第19号

1990年10月20日発行
 社会福祉法人 友愛会
 大島保育所
 大島福祉学園
 友愛園
 南川福祉学園
 題字 理事長 角野元保

海 清



今日も 元気です (友愛園)

スズムシ

スズムシ鳴いても

悲しくない

スズムシ鳴いても

嬉しくない

ただ鳴けるから

鳴いているんだ

それをどうとらわれようが

それをどう思われようが

スズムシは

ただ 鳴いている

川北 浩之

(友愛園)

大飯町で開催!!

第8回 友愛会文化祭 舞台発表と作品展示

♥日時 10月28日(日)

午前9時30分～午後4時

♥会場 大飯町総合町民センター

♥プログラム

●友愛園

カラオケ 踊り「浪花節だよ人生は」
カラオケ 劇「夫婦春秋」
カラオケ 踊り「柔」
カラオケ 劇「酒よ」
カラオケ 小話「王将」

●大島福祉学園

踊り「森のくまさん」
合奏「おしの声」
合奏「手をたたきましょう」
合奏「河内音頭」
合奏「北海盆歌」
合奏「斉太郎節」

●南川福祉学園

南川子ども太鼓「ソーラン節」
カラオケ「命船」
カラオケ「大阪しぐれ」
カラオケ「ふりむけば横浜」
マスゲーム「おどるボンボコリン」
合唱「切手のない贈り物」

●大島保育所

お遊戯「おどるボンボコリン」
お遊戯「風のジャズダンス」
お遊戯「お祭り忍者」

★映 画「裸の大將放浪記」

上映 12時50分～14時50分

正一君と智香さんの
(大島) (南川)

ここが見どころ!!

正一 こんにちは。久しぶりですね。

智香 こんにちは。本当に……。

正一 今年も文化祭が近づいてきました。

智香 見どころは、どんなところでしょうか。

正一 ステージでは、かわいい保育所が楽しみですね。

智香 私たちも若さ一杯頑張ります。ところで映画もあるんですよ。

正一 そうそう、裸の大將放浪記です。芦屋雁之助さんが、山下清さんを演じるそうです。

智香 テレビのも面白いですけど、映画はもっと迫力あるでしょうね。

正一 ぼくも貼り絵やっているからね。清さんのことを尊敬しているんですよ。

智香 いい映画だし、大勢の人に見てほしいと思います。

正一 見てほしいのはステージだけではありません。

智香 作品展示もしています。

正一 ぼくのところでは、陶芸作品や和紙を使った物、バスマット、版画カレンダーなど、おなじみの作品を展示即売します。

智香 私たちの作ったバスマットも好評なんですよ。友愛園では盛んなクラブ活動の紹介が、たくさん発表されるそうです。

正一 家族との出会い、いつもお世話になっている町の人たちとの出会い、いろいろな出会いのある夢のある文化祭にしたいですね。

智香 みなさんお忙しいでしょうが、是非来てください。楽しみに待っています。

友愛園

カラオケ + α
何が出るのかな

毎年、選りすぐりの名歌手？がカラオケで得意の歌を披露して、皆様の御声援を載いておりますが、今年も、ナツメロ調の歌の数々に加え最後に少し小話なども交えてお届けします。みんなで自主的に決めて懸命に練習を重ねております。

カラオケセット、レーザーディスクと近代音響設備をふるに使う腕をみがいているところです。

一見誰でも唄えそうな曲も実際に唄ってみますと、難しいものです。でも大きな声を出していると、それだけでとても気持ちがよくなります。趣味と健康をかねて本番には、その成果を皆さんにアピールしたいと張切っています。

大島福祉学園

合奏と踊りで
盛り上げます…

今年の舞台発表は、合奏、歌、踊りで攻めてみたいと思います。特にこの分野が大好きな、訓練班と農耕班が皆を代表して発表することになりました。

まず訓練班は、「虫の声」の合奏で秋を

表現します。次に日頃得意としている「手をたたきましょう」を力いっぱい合唱でお送りします。農耕班は同じ合奏でも民謡に挑戦してみました。さらに歌と踊りを加え、精一杯祭りの雰囲気を出したいと考えています。曲名は「河内音頭」「北海盆歌」「斉太郎節」です。是非ご観覧ください。

南川福祉学園

新しい事に挑戦！
はりきってます

今年の舞台発表は、樽太鼓・カラオケ・踊りとバラエティーに富んだ楽しい発表を行います。

樽太鼓は初めての試みですが、法被姿も勇ましく、「ソーラン節」の曲にあわせて、手作りバチを元気よく振り上げます。

カラオケは3人の園児が、毎日ホームタイムに練習した、それぞれの得意とする曲を披露します。

締括りは、今年大流行の「ちびまる子ちゃん」のテーマソングにあわせ、7人の園児がかわいい衣装で、楽しく踊ります。

いっしょうけんめいな姿を見てあげてください。

大島保育所

ショーアップ!!
踊るポンポコリン

今年大流行した曲、テレビマンガちびまる子ちゃんの「おどるポンポコリン」を椿組の9人が、踊ります。ちょっぴりはずかしがり屋のまる子ちゃんもいますが、アップテンポな曲によって舞台狭し

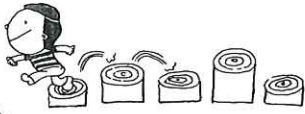
と踊ります。

4・5才児は、男児と女児に別れて踊ります。男児は、軽快なステップのついで光ゲンジの弟分である忍者の「お祭り忍者」に挑戦します。女児は、日頃からの踊り好きをさらにショーアップし、「風のジャズダンス」を舞って見せます。

どの子も精一杯発表しますので、お楽しみください。

びのわみ

大島保育所



たくさん歩いた

秋の遠足

9月11日、リュックサックにお弁当、水筒、おやつをつめ、近くの袖ヶ浜へ遠足に出かけました。

朝から子どもたちは、大はしゃぎ。長い道のりも元気いっぱい。とっても暑い日だったので、浜に着くといきなりひざまで入ったりしていました。楽しみにしていたお弁当を食べ終わると午後からは、岩場の方までやどかり探し。あっちの岩、こっちの岩と探しているうちに、お尻や胸まで海につかってしまい気分は夏!!子どもたちのキラキラと輝いた目、園内では味わえない楽しい一日でした。



運動会 ナイスショット

♥さあ仲良くゴールへ



♥変装するのめたいへん



♥リレーだがんばるぞ



ステーション◎東小浜駅周辺

小京都小浜にふさわしい、古社寺がたくさん存在しているところです。まず駅より南へ1.5kmほどいくと、若狭で最も古い神社、若狭姫神社とさらに南へ2kmのところには若狭彦神社があります。合わせて若狭一の宮とか遠敷明神とか呼ばれ、神話で名高い海幸彦とその妻豊玉姫が祭っており、いわば夫婦神社であります。

その南へ下ると神宮寺とか、奈良東大寺へのお水送りの行事として有名な鶺鴒の瀬があります。お水送りのいわれは、奈良東大寺の書きものに残っていた記録によれば、二月堂の祭りに招か

れた若狭の遠敷明神が、釣りをしている遅刻、そのおわびに若狭の水を送ったのが始まりということ。

俳句クラブの吟行会でも、鶺鴒の瀬の地を訪れたり、ウォークラリーでも社寺をまわり、よい思い出となっています。



●吟行会でひとひねり

海とぼくらと

精神薄弱者
更生施設 大島福祉学園

地域交流の展開

理解される 共感される 施設への脱皮

地域交流行事のひとつに「学園祭り」があります。「ふれあいませんか、わたしたちと」をテーマに施設の地域住民への開放に努め、本年もたくさんのお客様がみえ、音楽会、チャリティバザーにと施設内あちこちでふれあいの輪が結ばれました。また、「体育大会」(5月実施)では、大島小学生のみなさんの参加があり、施設の利用者(園生さん)とおしゃべりする光景などあちらこちらでみられました。また、この28日には「友愛会文化祭」が開催されます。練習を

重ねた舞台発表や作品を展示し、地域の方々と交流を図ります。

その他四季を通じて様々な交流行事がありますが、常に大島漁村婦人部さんなどのボランティアのみなさんの手助けをかりて行えるものであり、月に一度定休日を利用して理髪奉仕に来てくださる理容店のみなさんなど多くの人たちに支えられていると感じます。

園生さんにとって地域の人たちとの出会い、語らいは、貴重な体験でもあり、それを求めてもいます。



● 学園祭りでの交流

施設が地域の中で理解され、共感していくことは、非常に困難なことでありますが、最も必要なことです。

今後は従来の取り組みをさらに推し進めるとともに、地域を巻き込んだ福祉教育、在宅障害者へ施設の持つ専門性を生かしたケアなど、地域のニーズに応じた取組みも進めて行くべきです。

私たち施設職員が常に意識を高め実践をつむことが、施設が地域の中に受け入れられ、正しい理解を生み、住民総ぐるみの福祉活動を生む一助となるはずで

(坂本孝司)

私の療育日誌

第1回 さくら

私たち生活指導員は、居室を中心とした生活面での指導や介助の様子を療育日誌に綴ります。各々の部屋の2～5名の暮らしを集約した形のこの日誌には、日々の営みとともに、私たちのさまざまな思いも込められています。このシリーズでは、こうした日誌を通し、生活の様子を伝えることにします。

8月23日 田辺君、三方町の梨園に出かける。「おいしかった」と感想を述べる。

8月30日 大沢さん、グループの社会見学で、和紙すきを体験する。「簡単にできたで」とのこと。

9月9日 学園祭り。芝君、中野君、田辺君は、お母さんたちと過ごせて嬉しそう。大沢さんは音楽クラブでステージに立ち熱唱する。

9月14日 大沢さん、お母さんに敬老の手紙を出す。

9月17日 芝君、ベルマークの整理を行う。とにかく物を集めるのが好きな彼、日用品や菓子につ

ているマークを切り取り集めている。何かの役に立つといいね。

9月19日 大きな台風が襲来。しかし、風雨が強まっても、中野君は我関せずといった大きな態度で落ち着いていた。

(さくら担当 岩竹実)



くるまです少し前進!

身体障害者療護施設
……友愛園

友愛園あれこれpart 18

クラブ紹介—木工クラブ

木工クラブは当初木の良さを知る数名の入居者が、愛好会として活動したのがきっかけとなりました。最初は日曜大工的に本箱作りや目皿修理などを、その人の障害の程度に合わせて、各自が自己の力を充分に出して工作していました。その後徐々に障害が重くなり、クラブ員も1人2人と減っていき、現在1名の入居者が毎日作業を続けています。



作業も日曜大工的なものから、古木みがきに移り、サンドペーパーや木工ドリルを使い古木をみがき上げています。材料が手元に届いてから、約2ヶ月大きな古木であれば1年以上もかかります。

作品がひとつ出来上がるまでに数ヶ月、この月日は長いようですが、作業をしていますと非常に短かく感じ、工程のひとつひとつをクリアすることに喜びが現われ

てきて、廃材となる古木が、花びん敷きや、置物としてリサイクルできた時の感動は忘れることができません。

作品は文化祭に出品しています。ぜひ古木みがきの工程を見て下さい。

遠足は京都へ…

東本願寺を参拝

10月4日京都・東本願寺へボランティアの方々に応援していただき遠足に出かけました。

雨模様でしたが、京都に着くと雨もあがり、むしあつい空気に包まれながら東本願寺へお参りしました。

その後食事や買物へと京都駅地下街ポルタへ、地下街は始めてという人も多く、一風変わったポルタ内を自由に行動していたようです。ボランティアの皆様、ありがとうございました。



京人形に似た

かずちゃんデス

今回は京都市出身の藤田和江さんを紹介いたします。藤田さんは「かずちゃん」という愛称でみんなから親しまれています。かずちゃんは黒髪の色白さんで、おかつば頭の似合う京人形を思わせるような

人です。言葉にも京都訛があり、部屋のカーテンを開けると、よくかずちゃんの京都弁が聞かれます。

かずちゃんはとっても世話好きで、誰から言われてするのでもなく、自分から進んでいろいろと手伝ってくれます。テレビが好きで、朝早くから夜10時まで見ています。

特にドラマが好きです。著作業にも精を出し、毎日コツコツとや

る頑張りやさんです。



キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

10周年記念体育大会 願い乗せ 風船飛ばす

日焼けした笑顔

大集合!!

小浜小学校との
交流会



夏休み中の行事として恒例になっている小浜小学校との一泊キャンプが、今年はバーベキュー大会を中心とした日帰り交流会と形をかえて、8月25日(土)に実施されました。

特別に暑かった今年の夏、この日も30度を越すきびしい暑さでしたが、若々しい富坂先生率いる5年1組の元気な仲間を迎え、子どもたちはジュージューと音を立てて焼けていく肉や野菜を次々と口にほおばり、流れる汗を拭きながら也大満足顔でした。

午後はレクリエーションとして、ミニ運動会を開いたり、お互いの

特技を披露しあったりしました。

運動会では、生徒と園児がペアを組み協力しあって風船を割る競技、紅白に分れ、自慢の力や足を生かして競いあう綱引きやリレーなどを行いました。最初はごちなかった子どもたちも、時間と共に大声で応援したり、手を取りあって喜んだりし、和気あいあいのムードに包まれていきました。

最後に、踊りと合奏をそれぞれ披露しあって終わりましたが、みんなの心の中にたくさんの思い出が残された交流会でした。

去る6月4日、気持ちの良い晴天の下、第10回体育大会が当学園グラウンドにて開催されました。

今年には学園設立10周年を迎える記念すべき年でもあり、開会式にはみんなの願い事を結びつけた風船が大空に飛ばされ、大会の雰囲気盛り上げました。競技においては、職員・保護者も、趣向をこらしたユニークな競技や紅白リレーに参加しましたが、園児に負けない若さを発揮し、最後まで笑いの絶えない明るい体育大会でした。



はつらつ3号室

秋を満喫中です

とても気持ちのいい秋。みなさんいかがお過ごしですか。

私達3号室3人組は、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋を楽しんでいます。

スポーツの秋といえば、なんと

いってもマラソン。私、浜田和美は、スマートなこの体で疲れ知らずの軽快な走り。どなたか一緒に走りませんか。

食欲の秋といえば、りんご、栗なし、やきいも、まんじゅう……。でも、やっぱり一番おいしいのはお母さん手作りのパンブキンプリンかな。一瀬明子でした。

芸術の秋といえば私、川崎美篤。3年前の文化祭では、親指姫のヒロインやらせてもらって、大満足。

学園みんなの「ものまね」だってできる女優よ。





(4～8月分)

友愛会

寄付

寄付金……畠中美代子さん

大島福祉学園

奉仕・交流

高浜町ボランティアのみなさん
大島漁村婦人部のみなさん
つばさの会のみなさん
ハーモニーおおいのみなさん
大島小学校のみなさん
福祉協力校ワークキャンプのみなさん

大島保育所

奉仕・交流

木下行男さん
村宮隆文さん

南川福祉学園

奉仕・交流

小浜市民生婦人部さん
久坂婦人会ボランティアさん
つばさの会さん
福井県母親クラブ連絡協議会役員さん

(実習)

炭吉広子さん・大谷真喜子さん

寄付

石けん・タオル～浜田さん
日用品～国際ソロプチミストさん
下着類～澤山和子さん
ショートケーキ～西谷さん
衣類・食器など～
京都共栄銀行小浜支店長
今井八郎さん
福祉協力校ワークキャンプのみなさん

岩本エイさん

原真英さん

中名田冠句会のみなさん

田茂谷老人クラブのみなさん

猿橋統流子さん

福祉協力校ワークキャンプのみなさん

敦賀児童相談所のみなさん

上中町民生委員身障部会さん

若狭高等看護学院生のみなさん

寄付

掃除機…小浜市農協婦人部さん

寄付金…ジャパン企画プロモーションさん

寄付金…山田花子さん

編集後記

秋冷快適な秋となり、野山や海や空までが鮮やかです。

「海清」第19号をお届けします。

友愛会文化祭も8回目を迎えました。毎回、同じような内容で、新鮮さに欠けるかも知れませんが、工夫をして頑張っていますので、応援をお願いします。

人の見方は、その人の価値観の違いによって変わってくるものですが、私たちは障害児・者といわれる人々の存在を明確にするとともに、一人一人に対して同じ人間として、対等のつき合いを心がけていくべきです。慣れや見過ごしてしまうことが結果的に、個人の尊重や生活の自主性を侵してしまうことになるのです。(谷口)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6
大島福祉学園内
広報「海清」編集部

☎919-21 ☎0770(7)0185



友愛園

奉仕・交流

買物ボランティアのみなさん
東野手芸店さん

会費

一般会員年額1口(千円)から
特別会員年額1口(五千円)から
法人会員年額1口(三万円)から
大島福祉学園までご連絡ください。

職員の募集

友愛会では、大島・友愛・南川の各施設に勤務する女子職員を若干名募集しています。詳しくは大島福祉学園総務課(☎77-0185)までお尋ねください。

後援会員を募集中

友愛会の福祉活動を育成援助することを目的に、今年度も後援会員を募っています。

近づく文化祭や広報「海清」の発行などに役立てられます。

みなさんの温かいご支援をお願いします。